

親子参加大歓迎

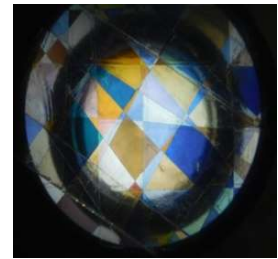
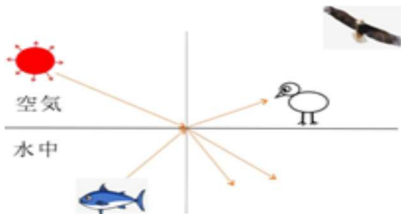
# 不思議だらけの科学実験教室

— 自分<sup>じぶん</sup>のことば<sup>はな</sup>で話そう! —

まんにん たいけんか がくじっけん  
12万人が たのしんだ 体験科学実験です!

身のまわりにある科学現象<sup>かがくげんしょう</sup>を、視覚<sup>しかく</sup>(みる)・聴覚<sup>ちようかく</sup>(きく)・味覚<sup>みかく</sup>(あじわう)・嗅覚<sup>きゆうかく</sup>(かぐ)・触覚<sup>しゆかく</sup>(さわる)の5つの感覚<sup>かんかく</sup>で体験<sup>たいけん</sup>することで「もっと知りたい!」という気持ち<sup>きもち</sup>を育てます。「知る喜び<sup>しるよろこび</sup>」、「学ぶ楽しさ<sup>まなぶたのしみ</sup>」、「わくわくする好奇心<sup>こうきしん</sup>」は、人間<sup>にんげん</sup>の能力<sup>のうりよく</sup>を高める最高の原動力<sup>げんどうりよく</sup>です。

不思議<sup>ふしぎ</sup>だらけの科学実験<sup>かがくじっけん</sup>を通して、なぜ? どうして? の発見<sup>はっけん</sup>をたのしみながら自発的<sup>じはつてき</sup>学習力<sup>がくしゆりよく</sup>を養おう!



鳥は空から水中の魚を見つけることができます。釣人には見えません。なぜでしょうか?

作ったミラクルボードの一例

## テーマ 「光<sup>ひかり</sup>の不思議<sup>ふしぎ</sup>—偏光<sup>へんこう</sup>」

2026年5月31日(日) 13:00-16:00(受付は12:30から)

会場: 生野区民センター

(大阪市生野区勝山北3丁目 13-30)

講師: 近畿大学 名誉教授 木村隆良 文芸学部非常勤講師 河崎絵美  
理工学総合研究所准教授 新居毅人

対象: 小学生・保護者 30組

参加費: 無料/FREE

お申込み: 次頁インターネットから ※先着順(申込締切 5月20日)

主催: 特定非営利活動法人 なにわ考房

助成: 独立行政法人国立青少年教育振興機構 子ども夢基金助成事業

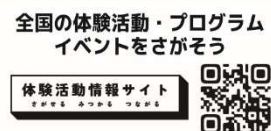
後援: 大阪市教育委員会(申請中)

生野区民センター



本活動は、「子どもゆめ基金」の助成活動です。国立青少年教育振興機構は、子どもたちの成長に必要な体験活動や読書活動を推進するため、「体験の風をおこそう」運動や「早寝早起朝ごはん」国民運動にも取り組んでいます。

本活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。



# 不思議だらけの科学実験教室—自分のことばで話そう！—

## 光の不思議—偏光

光は粒子と波の2つの性質を持っています。ここでは光がもつ波の不思議な性質を体験します。光波は横波です。動物や昆虫などはこの性質を利用して自分の位置を特定（空間認識）しているものがあります。スマホ、TVの液晶ディスプレイ、サングラスなどの原理として使われています。ミラクルボード（ステンドグラス）、ブラックウオール、水晶玉とガラス玉の鑑定機、ビーズアイ（太陽羅針盤）、歪発見器などを作り、光の色々な波の性質を調べます。実験を通して科学の不思議さや原理のことを考えましょう。全て体験実験です。日常生活に密着した現象について、色々な科学実験の体験を通して科学的現象の本質を知る、発見する喜びを体感してください。



ブラックウオール



ビーズアイ（ミツバチの目モデル）



どちらが水晶・ガラス？

不思議だらけの科学実験教室—自分のことばで話そう！—

下記のHPよりお申込み下さい。

先着30組で締め切らせていただきます。

URL: [http://www.naniwakoubou.jp/yume/kodomo\\_F.html](http://www.naniwakoubou.jp/yume/kodomo_F.html)

直接申込み: <https://ws.formzu.net/dist/S68521855/>

連絡先/問い合わせ先: [naniwakouboug@gmail.com](mailto:naniwakouboug@gmail.com)

実施中: TEL 070-2633-0964

特定非営利活動法人 なにわ考房



申し込みQR